



ゴロスケ報々



イラスト：森の絵本づくりの会 半田

祝 ゴロスケ報々 200号

1988年11月の「友の会ニュース」創刊から隔月発行で号を重ね、33年の歳月を経て、めでたく200号発行の節目を迎えました！！
200号特集ページは4、5ページです。
「ふむふむ」と「ブログより」はお休みです。

●祝・200号！ 会長挨拶●

ゴロスケ報々200号の記念にあたり、あらためて友の会の日々の活動の積み重ね、継続性について、本当に素晴らしいことだと感じます。毎号、欠かさずに発行してきたということは、同時に、毎月・毎年、必ず何かの活動が行われ、伝えたいことが途切れることなくあり、それを支える人がいて、役割の担い手に色々と変化があっても、続けていこうという志を持ち続けてきた、ということです。歴代の編集関係者、毎号の各原稿執筆者、そして読者である会員、そのほか、関わる全ての人に感謝申し上げます。

今、まさにコロナ禍の危機的状況にあって、多くの市民団体が活動の休止や縮小を余儀なくされている中、友の会においては、行事こそ縮小されているものの、プロジェクト活動は7割の実績を維持し、そして、ゴロ報はこのような時だからこそ、欠かさずに発行され、会員と活動と自然観察の森とをつないでくれています。刺激は少ないかもしれませんが、連綿と続いている「あたりまえの日常」が、これほど有難いと思えることも、そう多くはなかったのではないのでしょうか。

100年・1000年に一度などという事象が普通に発生してしまう自然の中では、200号はまだまだ通過点なのかもしれません。これからも、皆で力を合わせて、あたりまえの日常を持続していくことと、新たなページを紡ぎながら、途切れることなくゴロ報が発行されることを願います。

会長 山口博一

友の会は、横浜自然観察の森を中心として、身近な自然とふれあい、自然を愛し、自然に学び、自然を守り、育て、自然を愛する人々を育てようということを目的としています。

友の会行事のお知らせ

●行事参加者募集！「野草保護の助っ人：第2弾 外来種とり」●

今回は、外来植物の除去を計画しています。お手伝いいただける方、ぜひご連絡ください！

日時：12月11日（土）、14日（火）9：30～11：30（小雨決行。荒天時は18日に延期）

対象：会員、各日先着5人

申込先：entry@ynstomo.org

申込内容：タイトルに「野草保護の助っ人」、お名前、参加希望日、連絡先

メールの無い方は、自然観察センターにご連絡先をお伝えいただければ、折り返しご連絡差し上げます。

「野草の調査と保護PJ」ふじた・かおる

友の会行事のお知らせ

●森の作業体験 間伐体験●

萌芽更新などを目的にした木を伐採する体験ができます。薪割りやコースター作りや竹細工なども体験できます。炭焼見学も予定されています。

日時 2021年11月20日（土）

10：00～12：00

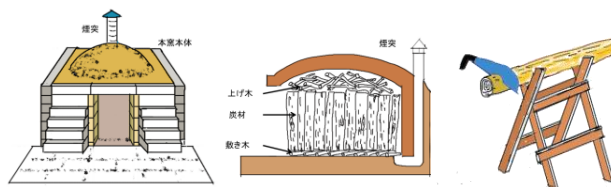
集合：10：00までに観察の森・炭焼き小屋

対象・定員：5名（中学生以下、保護者同伴）

※申込多数の場合は先着順とします。

申込期間：10月17日（日）～11月17日（水）

Fax（045-894-8892）（観察の森）または、Eメール（entry@ynstomo.org）



※新型コロナウイルス感染防止緊急事態宣言が発令されるなど、やむを得ず中止する場合がありますことをご了承ください。

担当：雑木林ファンクラブ

●友の会プロジェクト紹介（畑プロジェクト）●

メンバー7名とレンジャーの方々に、生態園近くの林の中に里山の畑の様な約1アールの痩せた耕作地を維持し、無農薬・無肥料で主に在来作物を栽培しています。害虫が発生しても駆除せず天敵が現れるのをじっと待ちながら、耕作と腐葉土作りに精を出しています。また、この地で周年活動することにより、虫や鳥・野草など自然の変化を見出し、楽しんでいます。

現在育てている作物は、ライムギ、サトイモ、ヤマイモ、タマネギ、フキ、ササゲなどで、自家採種での継続栽培を目指しています。また畑の周囲は、ここに自生する在来の有用植物の栽培スペースとして活用していきたいと思っています。

活動は午前中で原則月2回です。1月を除く第1土曜日は、友の会会員は自由に参加できます。また、8月を除く第3土曜日は、いつもは一般の方も参加できる行事「畑と作物を作ろう」も行っていますが、この行事はコロナのため現在は中止です。会員の方のみ参加できます。

自然との触れ合いと肉体労働で、リフレッシュしましょう。メンバーは、何故か草抜きや笹刈りが好きになってきました。来られたら、何か新しい発見に出会いますよ。

皆さんの参加をお待ちします。

畑プロジェクト 落合

●9月定例会報告●

日時 2021年9月19日(日) 9:15~10:25 オンライン会議
出席者 青木、秋元、今村、上原、大浦(司会)、大西、落合(司会)、志益、高橋(書記)、中里、西山
星隈、村松、山口、渡部、 観察センター：掛下R、尾崎R

議題 1. 友の会の8月から9月までの行事・活動報告をしました。

PJ 行事では「オンラインで季節の森を歩こう」(ハンミョウの会)と新作絵本「しずくの森で」原画展(森の絵本づくりの会)が実施され、他は中止となりました。7/18「安全管理講習会」が観察の森チーフレンジャーの掛下さんを講師に「横浜自然観察の森における安全管理の考え方」をテーマにオンライン開催され、会員18名が参加しました。

2. 12月までの友の会行事予定を確認しました。

実施予定の行事

「森を守るボランティア体験」(オンライン) 観察センター共催 ハンミョウの会担当

「オンラインで季節の森を歩こう」、「みんなでバードウォッチング」「森の作業体験」

その他の一般の参加型行事は中止の予定です。予定している行事も感染状況により、中止になることもあります。

なお、会員を対象にした行事もありますので、ご参加をお待ちしています。(裏表紙の行事予定をご覧ください。)

3. その他

- ・12月に予定されていた「望年会」は中止します。
- ・今年もカレンダーを販売します。ご協力をお願いします。(11月下旬~)

4. センターより

センター便りのページをご覧ください。

〈次回の定例会〉

11月21日(日) 9:15~ を予定しています。参加申し込みは、後日メールで連絡します。

定例会は会員どなたでも出席できます。オンライン開催ですとご自宅から参加出来ます。

友の会活動報告

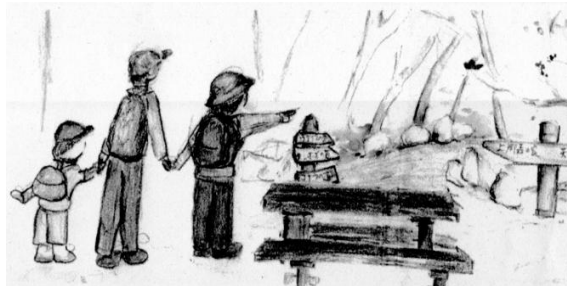
●森を守るボランティア体験 (オンライン)●

開催日：9月26日(日)
一般参加者：3組5名、スタッフ：3名
担当：森の案内人ハンミョウの会

緊急事態宣言期間のため、ZOOMによるオンライン開催となりました。

レンジャーによる観察の森の紹介、PJによる友の会の紹介の後、オンライン自然観察会を体験していただきました。参加された2組は、ZFC配布のチラシに興味を持たれたということでした。

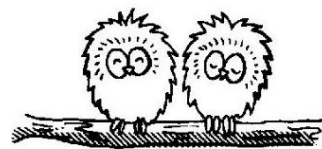
ハンミョウの会 西山



イラスト：森の絵本づくりの会

200号 特集ページ

歴代編集担当者からのひとこと



イラスト：Mu

高橋 剛さん

「ゴロスケ報々」200号の発行、おめでとうございます。

私が編集を任された当初（30年近く前）は、一人でコツコツと作業をしておりました。でも次第と森の生き物たちと同じように、友の会のメンバーも増えて、賑わいのある森となり、編集作業から発送までを、色々な方々にサポートして頂きました。「継続は力なり！」次は300号目指して、友の会と共に長く親しまれる「ゴロスケ報々」であって欲しいです。

松ちゃん（松田 久司さん）

200号おめでとうございます。ご無沙汰しております、松田です。

わたしがちゃんと編集長としてやっていたかという、それはあやしくて、「つよしさん」から次の方への中継ぎとして事務局長兼任ということかと。なので「むーさん」と「みやまん」のじゃまをしていたというのが勝っていたかもです。わたしのやったことでいまでも残っているのは、小中学生向けに「ふむふむ」のコーナーを作って原稿を書いていただくくらいです。なので、内容をもう少しかみ砕いていただくと嬉しいです。



イラスト：Mu



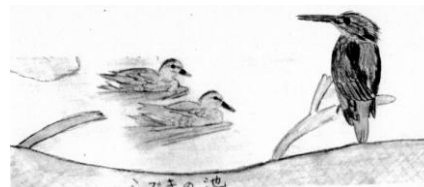
Muさん（高橋さん 畑プロジェクト）

95年から04年むらじいに引き継ぐまで担当でした。B4版の版下を作って、仕上りはB5版の8頁か12頁。手書きの原稿を集めて打込みとレイアウト。ページ割付で余白が出るとその場でテキトーな絵を描いて貼り付けるの、糊でね。輪転機での印刷は、真っ黒になったり薄かったり紙が詰まったり裏表が逆さまになったり。当時はマンガ「森のみやまん」連載「もり・森・モリ」ボラを始めたきっかけ紹介「はじめの一步」などのコーナーがあったよ。「ふむふむ」は97年開始で今もあるってすごい！そしてゴロ報は200号これからも続きます！



森のこぼれ話
ふむふむ

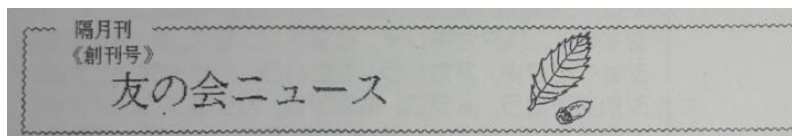
人気コーナー「ふむふむ」は
1997年スタート



イラスト：森の絵本づくりの会

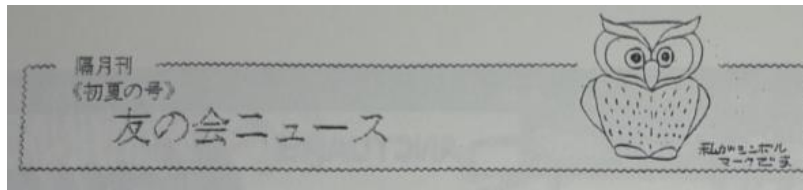
懐かしいっ！ ゴロ報表紙ロゴの移り変わり

創刊号
1988年
11月5日



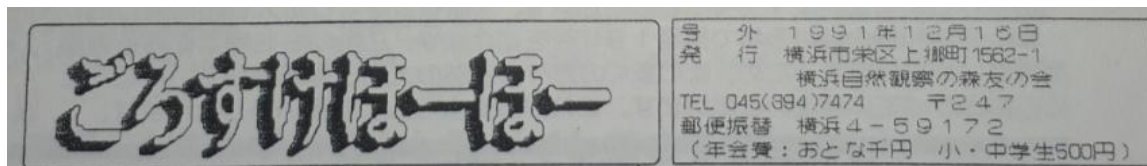
No. 1 1988年11月5日
発行 横浜市栄区上郷町1562-1
横浜自然観察の森友の会
TEL 045(894)7474 〒247

第4号
1989年
5月15日



No. 4 1989年5月15日
発行 横浜市栄区上郷町1562-1
横浜自然観察の森友の会
TEL 045(894)7474 〒247

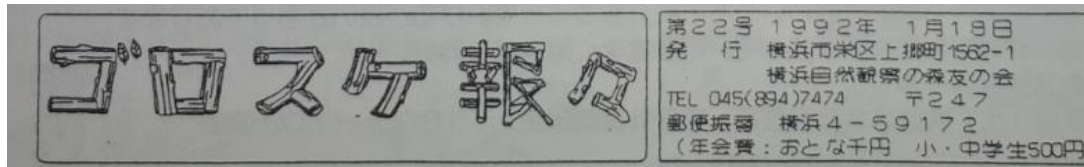
第21号
1991年
2月16日



号 外 1991年12月16日
発行 横浜市栄区上郷町1562-1
横浜自然観察の森友の会
TEL 045(894)7474 〒247
郵便振替 横浜4-59172
(年会費：おとな千円 小・中学生500円)

この頃、友の会年会費は、おとな1,000円 小中学生500円でした。

第22号
1992年
1月18日



第72号
2000年
6月頃
現在に至る



むらじい (村松さん 自然と遊ぼう)

前任の松ちゃん(松田久司さん)から誰か引き継いで…と言われて、引き受けたのが95号(2004年4月)のこと、とはいうもののわからないことだらけでよちよち歩きの編集者でした。松ちゃんの独壇場で続いた「ふむふむ」もPJの持ち回り制を提案して、以後順調に進むようになりました。印刷も押入れのような小部屋の中で、旧型の大きな機械で使いこなすのが難しく苦労しました。



イラスト: 森の絵本づくりの会

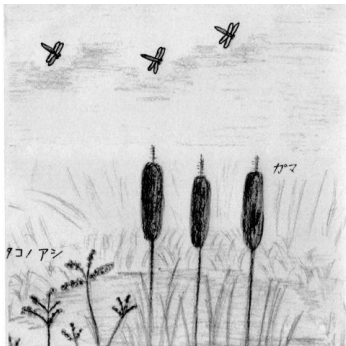


イラスト: 森の絵本づくりの会

平野さん (カワセミファンクラブ)

友の会で編集といえば、総会資料作成と「ゴロ報」の発行である。総会資料は、各プロジェクトの熱意のこもった提出資料を纏めただけで、編集には特段の苦労はしなかった。「ゴロ報」発行では、日々の会員間情報を共有する為の各PJの情報を山尾さんに編集して頂いており、私はゴロ報の表紙を飾るイラストを高橋・志益・加藤・佐野さん各氏にお願いした程度で、殆ど手を出していない。

友の会の総会資料や機関誌「ゴロ報」を見た他の組織の人は、友の会の幅広い活動内容の充実さに驚愕し、驚きを隠さない。

山尾さん (前編集担当者)

200号おめでとうございます!

最初の頃は、原稿に挿絵や表紙絵を糊で張って、センターに持参したり、郵送したりしていました。コンビニのコピー機で、絵の拡大や縮小を繰り返したのを思い出します。そのうちに、絵はスキャンしてデータ化、原稿もメールで送信と、デジタル化しました。

当時埼玉へ移住したのですが、何か役に立ちたかったので、遠隔でも編集を担えたことは幸いでした。今で言うリモートワークでしたね。



イラスト: Mu

今村 (鳥のくらし発見隊)

節目の200号に関わることが出来、本当に幸運なことと感謝しています。友の会、歴代レンジャー各位、森で暮らす仲間たち、みんなで繋いできた200号!ゴロ報は創刊からず〜と隔月発行。きっと今後も変わらないのでしょうね。だとすると、300号は16年後の2038年6月です。いったいどんな世の中になっているのでしょうか??

諸先輩から引き継いだバトンを次世代にしっかり繋ぎたいと思います。



【報告】 保安全管理フォローアップの会(9/11(土) 13~15時)

○内容：セイタカアワダチソウの調査と除草

活動は緊急事態宣言延長のため中止とし、レンジャーだけで行いました。

調査地点は7月に実施したエリアのすぐ隣で、一目見ただけでも昨年の駆除の効果が出ているように見えます。実際に調べてみると、3か所すべての地点で昨年に比べセイタカアワダチソウの草丈も低く、駆除した総湿重量も軽くなっていました。しかし、他の草本に紛れ見つけにくい膝丈ほどのヒョロヒョロとしたセイタカアワダチソウが育っており、駆除本数を数えてみると昨年よりも2倍近く駆除した調査地点もありました。このような個体を放置していれば、きっと勢力が戻ってきてしまうのではないかと思います。昨年、今年の詳細な結果は改めて報告したいと思います。来年も引き続き調査を継続するので皆さんのご参加をお待ちしています。

【お知らせ】 保安全管理フォローアップの会 今後の予定

★次回 11/13(土) 13~15時

○内容：桜林の実生木調査 集合：研修室

※資料の準備の都合で、ご出席いただける方は、前日までに掛下 (kakesita@wbsj.org) か 中沢 (nakazawa-k@wbsj.org) までご連絡ください。

【お知らせ】 土砂崩れ箇所通行止め解除のお知らせ

土砂崩れにより7月3日から通行止めにしていただいていたミズキの道6番~ノギクの広場~10番(コナラの谷)~13番の区間の通行止めを解除しました。横浜市みどりアップ推進課で急ぎ迂回路を整えてくださったおかげもあり予想よりも早い解除となりました。

しかし、崩落個所の修復工事を行ったわけではないので、崩落の拡大など危険がなくなったわけではありません。引き続き災害が発生する恐れがあるため、以下の場合、同区間を一時通行止めとします。

- ・大雨警報が発令される、または休館日中に発令される可能性がある場合
- ・強い地震の揺れがあった場合

その他の場所でも土砂崩れや倒木が発生したりすることがあります。警報発令時や悪天候後の活動については特に慎重にご検討ください。



【お知らせ】 安全管理マニュアルを作成しました

この度、行事参加者や団体利用者の安全を守ることを目的に「安全管理マニュアル」を作成しました。マニュアルでは、リスク(注意が必要な場所や生きもの)の情報や位置、対処方法などをトレイルごとにまとめています。ぜひみなさまにもお手に取っていただき、行事などの際にご活用いただければと思います。ご覧になる際は、カウンターのレンジャーまでお声掛けください。

【報告】森の生きもの講演会「10年後はどうなっているのか？」

～トンボとゲンゴロウから見た神奈川県東部と自然観察の森～（9/4(土) 10時～11時半）

今年度の講演会は、新型コロナウイルス対策のためオンライン配信とし、観音崎自然博物館の佐野真吾さんにご講演いただきました。

佐野さんは横浜市内各地で調査をされた結果から、タイコウチやミズカマキリなど、ひと昔前はごく普通に見られていた水生昆虫が姿を消していることを明らかにされました。トンボ類では、水田の消失や農薬の使用などが原因で、ハラビロトンボなど止水環境を好む種が特に減少しているそうです。観察の森では、他地域では減少した種も確認され、市内有数の多様性の高い水辺が保たれているとのことでした。

佐野さんは最後に、こうした調査や保全に携わる後継者を育成することの重要性を説かれました。子どもたちに「採集しちゃダメ！」と伝えて終わるのではなく、なぜだめなのか、どうしたら良いのか、環境のポテンシャルを見極められる目を養うことが大事であると熱く語られていたことが印象的でした。

【報告・お知らせ】「聞きなしコンテスト」

観察センターの「この森の野鳥」の展示コーナーでは、「聞きなしコンテスト」と称して、テーマの鳥の音がどんな風に聞こえるかアイデアを募っています。

7月から9月はホトトギスを募集。「特許許可局」や「テッペンカケタカ」などと、一般的に聞きなしがされる声ですが、結果を見ると…「めっちゃたのしい すごくたのしい」、「オホホホホホ おかしいな」、「だいすきだよ。だいすきだよ。」などなどバリエーションにとんだ作品が集まりました。

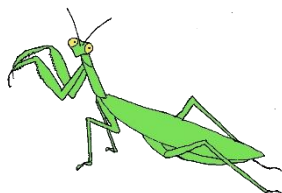
レンジャー一同で選んだ優秀賞は「よこはまかな よこはまかな」、「ここ大好き！ここ大好き！」の2つでした。

9月から12月末にかけては「モズ」の高鳴きをテーマに聞きなしを募集しています。このお題の作例にレンジャー達は苦戦してしまいました。友の会のみなさまもぜひ挑戦してみてください。



ボランティアさん ありがとう

8月1日～9月30日



- 8/1～ カワセミファンクラブのみなさま
自然情報のご提供・園内の利用状況の情報提供
- 8/1～ 野草の調査と保護プロジェクトのみなさま 開花情報のご提供
- 8/1～ 雑木林ファンクラブのみなさま ストーブ用薪のご提供
- 8/29 カワセミファンクラブのみなさま ミズキの谷の池観察小屋前の草刈
- 9/7 カワセミファンクラブ 岡田昇さん
怪我をしたアオサギの保護・動物園への搬送 倒木の情報提供
- 9/17 志釜じゅんこうさん 緊急時用水の缶のご提供
- 9/30 大浦晴壽さん 展示用写真のご提供



横浜自然観察の森 自然観察センター（月曜休館・祝日の場合はその翌日）

〒247-0013 横浜市栄区上郷町 1562-1

TEL:045-894-7474/FAX:045-894-8892

E-mail:yokohama-nc@wbsj.org

<https://www.wbsj.org/sanctuary/yokohama/>

指定管理者： 公益財団法人
日本野鳥の会
Wild Bird Society of Japan

行事スケジュール 10月～12月

■：センター行事
●：友の会行事
★：共催行事

●友の会 季節行事●

●望年会（中止）

残念ながら今年も中止です。

●自然案内人講座（中止）

11/6～7予定だった当イベントは中止です。

●コナラの谷の環境整備（友の会会員向け）

日時：11/11（木）9：10 センター前集合

対象：会員（中学生以上）少雨決行

持ち物：飲み物、軍手、帽子 汚れても良い服装で

担当：カワセミファンクラブ

●森の作業体験（一般参加者募集）

日時：11/20（土）10：00～12：00

定員：5名（先着順） 中学生以下は保護者同伴

申込：Fax 045-894-8892（観察の森）

または、メールで entry@ynstomo.org

担当：雑木林ファンクラブ

●野草保護の助っ人：第2弾 外来種とり

（友の会会員向け）

日時：12/11（土）、14（火）少雨決行

9：30～11：30 荒天時は18日に延期

対象：会員 各日先着5名

申込：entry@ynstomo.org

申込内容：タイトルに「野草保護の助っ人」、

お名前、参加希望日、連絡先

担当：野草の調査と保護 ふじた・かおる

★森を守るボランティア体験（一般参加者募集）

「冬の鳥たちがやって来た」

日時：12/19（日）9：30～12：00

定員：10名（先着順）

申込：Fax 045-894-8892（観察の森）

または、メールで entry@ynstomo.org

担当：鳥のくらし発見隊

●自然観察センター主催行事●

■つながりの森を歩こう

～観察の森の近く、朝比奈北市民の森の自然 地形を知ろう～

講師 田口公則さん

神奈川県立生命の星・地球博物館 主任学芸員

日時：11/23（火・祝）10：00～12：00

雨天時は11/27（土）に延期

場所：朝比奈北市民の森 大道中学校前バス停集合

定員：10名 抽選

対象：神奈川県内在住 中学生以上

申込締切り：11/15（月）

詳細はセンター配布のチラシ、またはHPにて。

●友の会 定例行事●（一般参加者募集）

申込制イベントの申込内容など詳細は友の会ブログ「森のでできごと」を参照ください。

●オンラインで季節の森を歩こう

～リモートでの森の観察会です～

11/7（日）・12/5（日）

11：00～12：00（ZOOM 接続 10：30～）

定員：先着10組（1端末が1組、1組何人でも可）

申込：メールで entry@ynstomo.org

担当：森の案内人・ハンミョウの会 毎月第1日曜

●みんなでバードウォッチング（野鳥観察）

～のんびり楽しむバードウォッチング～

事前申込制で活動再開しました！

11/14（日）・12/12（日）

9：30～12：00（雨天中止）

定員：10名（事前申込、応募多数の場合抽選）

対象：小学生以上（小学生は保護者同伴で）

申込：メールで entry@ynstomo.org

申込内容：行事名（みんなでバードウォッチング）、

参加者全員の氏名年齢、代表者連絡先（住所・

携帯電話番号）、双眼鏡の貸出し希望台数

詳細は友の会ブログ「森のでできごと」参照

担当：鳥のくらし発見隊 毎月第2日曜

●友の会 定例行事●（友の会会員向け）

●定点カメラで動物調査

11/13（土）9：30～12：00

対象：友の会会員向け

持ち物：特になし（11月は野外活動はせず、研修室での写真チェックのみです）

集合：ごろすけ館 5月～11月の毎月第2土曜

●参加者募集中止・未定の定例行事●

●畑と作物をつくろう

～生き物にあふれた畑を目指して～

2021年度は参加者募集中止です。

●森の絵本を楽しもう

～簡単ミニ絵本づくりと読み聞かせ～

2021年度の行事活動は中止です。

●自然と遊ぼう（園内の自然案内）

～ゲーム感覚で、遊びながら自然とふれあい～

2021年度は行事活動は中止です。

発行日 2021年10月20日

発行 横浜自然観察の森友の会

F A X 045-894-8892

E-mail: jimukyoku@ynstomo.org